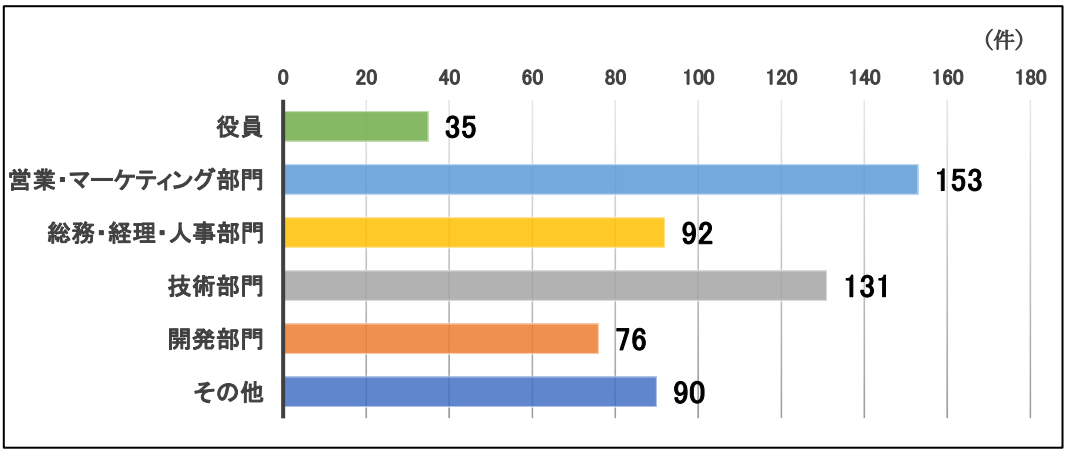
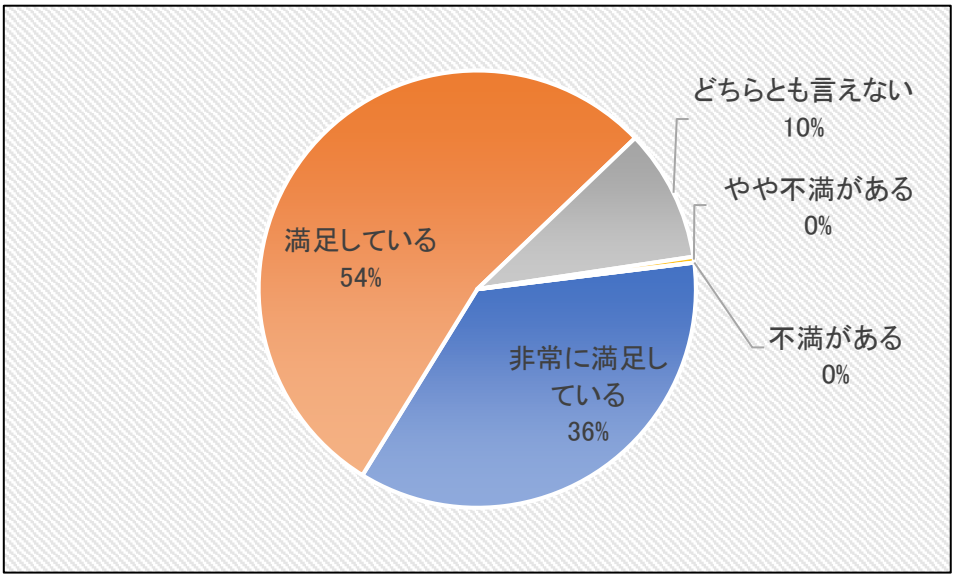
■企業・団体等への採用学生アンケート（2023 年度実施）

1. 卒業生が在籍している勤務部門（577 件）



回答企業の卒業生が在籍している勤務部門について伺ったところ、一番多いのは全体の約 26%で「営業・マーケティング部門」の 153 件、次に多いのが約 22%で「技術部門」の 131 件、次いで約 16%の「総務・経理・人事部門」で 92 件、約 13%の「開発部門」と続いております。本学は総合大学であり、文系・社会科学系、理工学系ともにバランスよく卒業生を輩出しているところからも様々な部門で活躍していることが特徴だとわかりました。

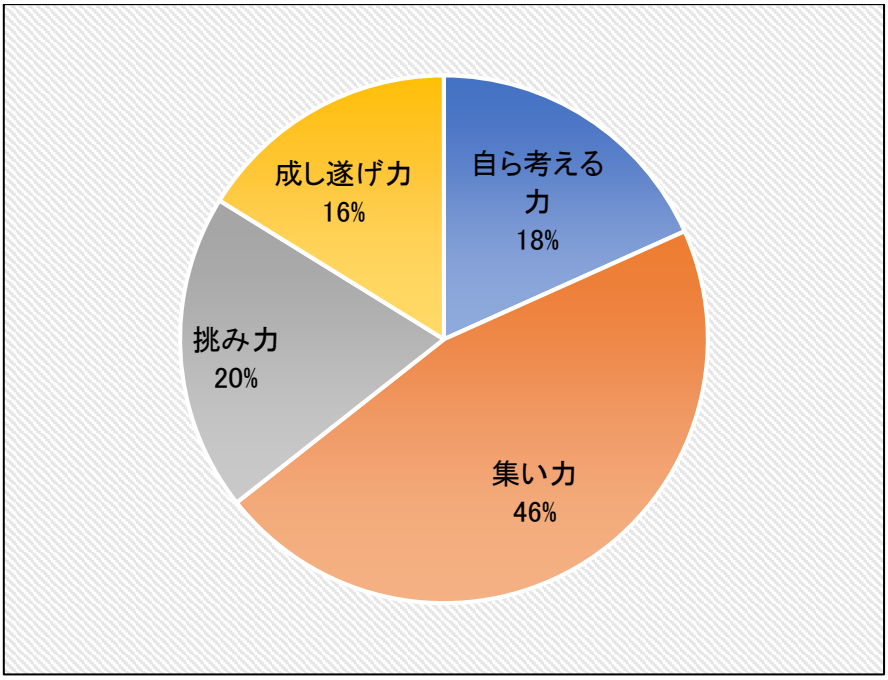
2. 直近 5 年以内の卒業生に対する満足度（235 社）



直近 5 年以内に入職した卒業生・修了生に対する満足度を伺ったところ、「非常に満足している」の約 36%（84 社）、「満足している」の約 54%（127 社）を合わせた約 90%（211 社）が「満足していただけている」ということが確認できました。本学の課程を卒業・修了し、9 割近い卒業生・修了生が社会人として活躍できていることは一定の成果であると認識しています。

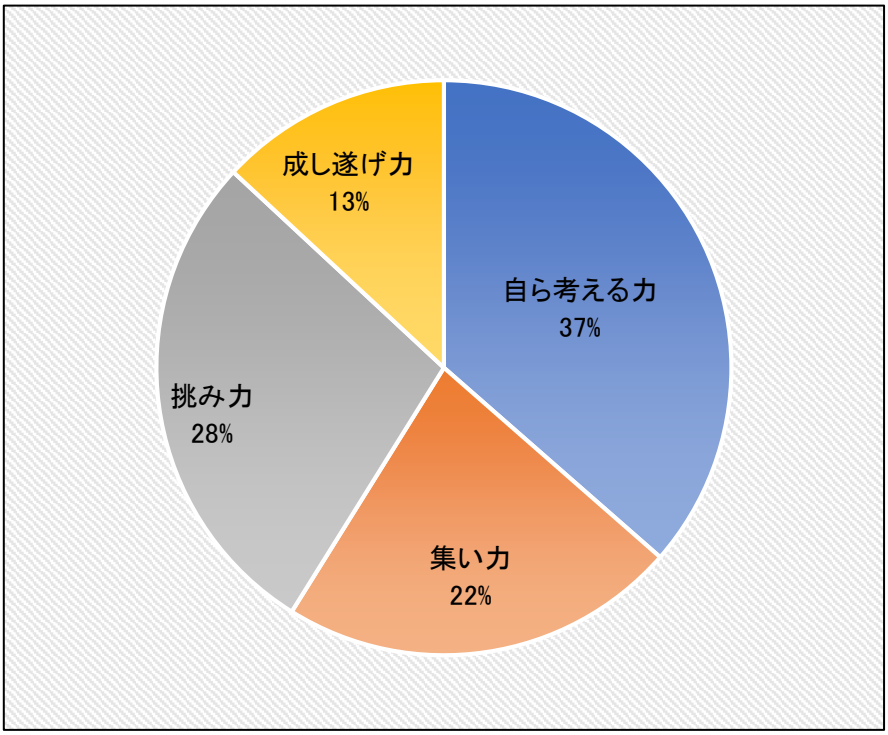
しかし、「どちらとも言えない」の約 10%（23 社）、「やや不満がある」の 1 社につきましては、課題があると理解しなければならず改善の余地があることの表れだと考えております。

3. 本学の学生に期待する資質や能力（525 件）



本学の学生に期待する資質や能力について伺ったところ、「4 つの力」では、「集い力」に関する期待が約 46%（242 件）もの高い割合でした。採用直後の若手社会人に求めている資質や能力としては、会社に入って上手く組織に馴染める資質や能力が期待されており、仕事に必要な専門性や業務知識を期待している企業から期待されている「自ら考える力」を大きく超える結果となりました。

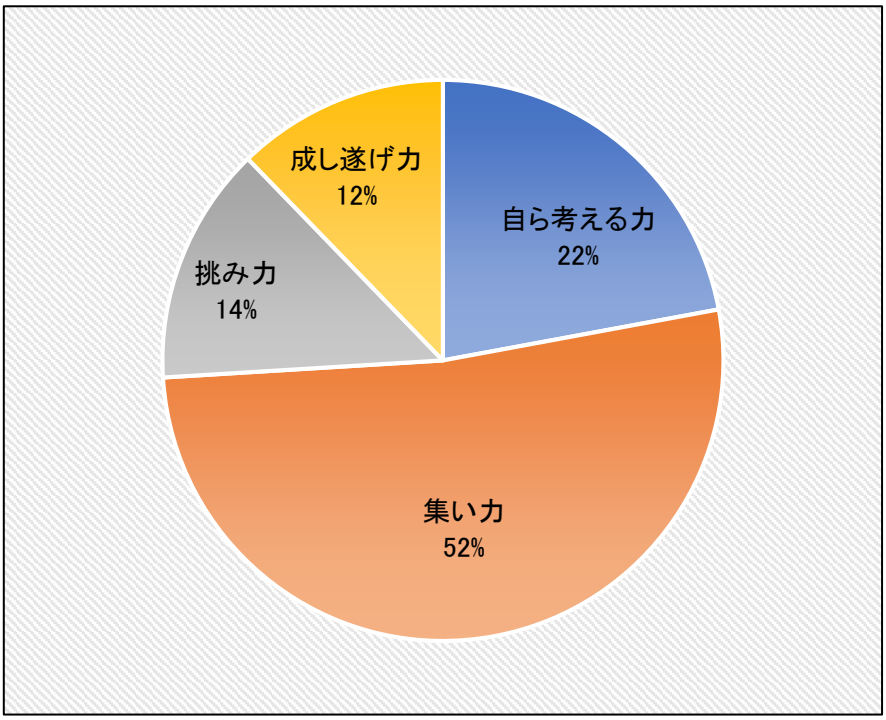
4. 本学の学生に足りない資質や能力（107 件）



本学の学生に足りない資質や能力に関して伺ったところ、「4 つの力」では、「自ら考える力」が約 37%（39 件）と高い割合でした。その次の「挑み力」が約 28%（30 件）となっています。

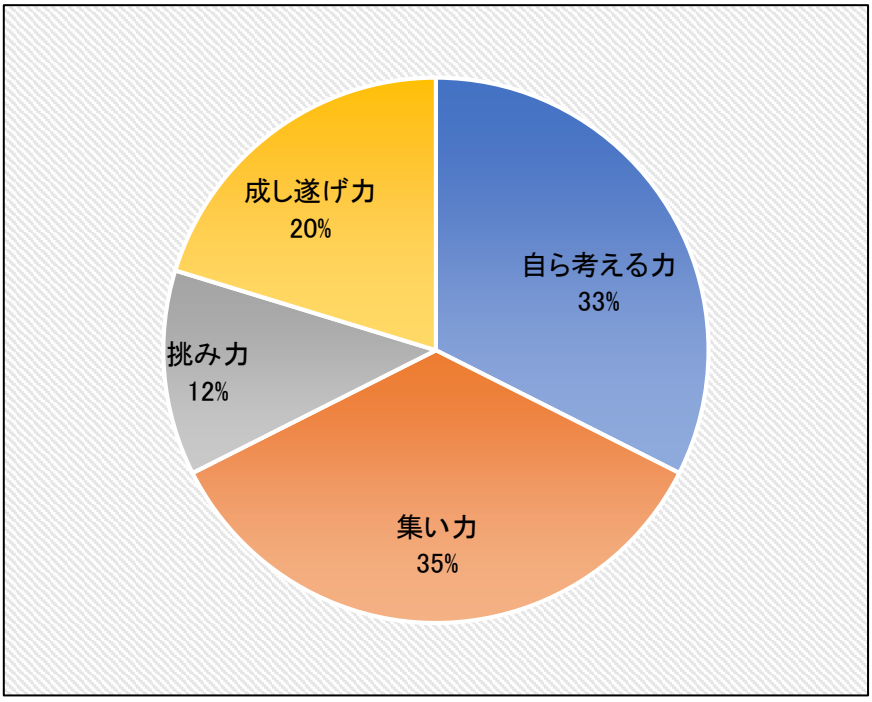
就職試験に合格する資質・能力という面では、「集い力」に関して期待されている意見が多いものの、実際の新入社員として不足を感じている資質・能力という面ではリテラシーに直結する「自ら考える力」であるという意見でありました。次に「挑み力」という面では、一歩先へ出る行動が業績につながっていく企業では、「前に進む姿勢」が常に求められていることも確認できました。

5. 本学の学生の強み（335 件）



本学の学生の強みについて伺ったところ、「4 つの力」では、「集い力」が約 52%（174 件）で最も多くの意見をいただきました。本学の学生の優位性は、「企業内の様々な人材が集う中で他者との関係性の構築や理解を示し、上手くその組織の形成や維持に働きかけること」が窺えます。

6. 本学の学生に一層求める素養や受容と共感（74 件）



本学の学生に一層求める素養や受容と共感について、「4 つの力」では、「集い力」が約 35%（26 件）、「自ら考える力」が約 33%（24 件）と多い結果となりました。ここでも入職段階で一番必要となる「集い力」であり、本学の学生の優位性とも言って良いこの資質や能力を更に伸ばしてほしいという意見でした。次に多い「自ら考える力」については、本学の学生の不足部分でありますが、社会人となり継続的に業績（利益）を生み出すためには欠かせない資質・能力であることから本学の学生への成長を期待しての意見であると認識しております。